

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和4年度 第3回三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会
開催日時	令和4（2022）年12月13日（火）14:00～15:30
開催場所	三豊市役所 西館大会議室
出席者氏名	北川委員、宮崎（勉）委員、草薙委員、前田委員、大矢根委員、秋山委員、 柚本委員、佐藤委員、宮崎（和代）委員、高橋委員、小林委員
欠席者氏名	山神委員、金子委員、石川委員、瀧本委員
事務局職員氏名	市民環境部 横関部長 人権課 西岡課長、河田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第4次三豊市男女共同参画プラン素案について (2) パブリックコメントの実施について (3) その他 4 閉会
配付資料	<p>議題資料1-1 第4次三豊市男女共同参画プラン—素案—</p> <p>議題資料1-2 「第4次三豊市男女共同参画プラン」数値目標設定（案）</p> <p>議題資料2 「第4次三豊市男女共同参画プラン」素案に対するパブリック コメント（意見公募）の実施について（案）</p> <p>次第、委員名簿</p>
その他	危機管理課、秘書課、人事課、産業政策課、健康課、介護保険課、 保育幼稚園課、福祉課、子育て支援課、農林水産課、学校教育課出席

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者の確認
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開について
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開について、異議のある人がいないか確認したい（異議なし）。 ・議事（1）第4次三豊市男女共同参画プラン素案について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料確認
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料1-1説明
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料1-1（8ページ）、1-2説明
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・まず1-1について、意見などを伺いたい。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、三豊市の高校生アンケートの「男は外で働き女は家庭を守るのが望ましい」生徒が7パーセントで「男は男らしく、女は女らしくという価値観や考え方」に賛成が8パーセントという結果に驚いた。最近は収入の高い男性と一緒に、仕事をせずに暮らしていきたいというのが憧れ、希望だという女性高校生が増えているという話が記憶に残っている。 ・しかし14ページの棒グラフで29歳以下をみると、高校生の賛成の数値が反映されていない。何のためにアンケートをしたのかと感じている。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・14ページは市民アンケートで、高校生とは別に集計をしています。高校生も掲載した方がよいということであれば、追加で高校生結果を掲載すれば解決できると思います。 ・主観ですが、高校生の7パーセントという数字は、一般的には10人に1人以下なので、そういう考えの人がいるかもしれません。「賛成の意識を持つ高校生もいました」という一文を記載することはよいと思います。 ・どういう働き方をしたいか質問したら「一度仕事を辞めて、ある程度子どもが大きくなったら再就職したい」という高校生が多かったのに驚いた話をされたように思います。M字カーブがよい高校生が多かったということです。重点を置くべき課題に「若い世代の心を大切にしたい啓発活動の強化」というがあるので、これらも踏まえた上で啓発していくことを考えないといけないと思います。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・調査をして出てきた大切な部分だと思うので、文章でもかまわない。マイノリティを大切にしようと進んでいるので、7、8パーセントという数字だが、2点を入れてもらいたい。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・たしかに大事な意見だと思います。女性が高収入の人と結婚して働かない昭和のステータス的なものを、様々な選択肢の中から自らの考えで選んだのであれば問題ないと思いますが「女性はそういうふうに生きるのが幸せだ」と家庭生活などで教えられ、刷り込まれて選んだとなれば、問題になると思います。男女共同参画の中では課題になるのだと思います。文章にして掲載する場合は、慎重に検討したいと思います。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載についてはそのとおりだと思う。よろしくお願ひしたい。
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・少数派は消えてしまいがちだが、一定数あったという一文が書けるのであれば書いてもらいたいと思う。こういった価値判断は、考え方によって違うと思うので、文章は確認しながら作るとよい。 ・ほかにあれば伺いたい。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・16 ページの「メディアリテラシー」について、辞書通りの解釈では内容が分からないので、説明してもらいたい。「ダイバーシティ」などもそうだ。市民アンケートでも、言葉を「聞いたことがあるが意味は知らない」「内容は知らない」というのが多かった。そういう言葉は英語が多いので、具体的な説明がいる。もう少し注意書きを入れてほしい。 ・32 ページからの女性活躍推進計画について、審議会や検討会、職員採用試験を含めた人員配置など、女性が積極的に手を挙げることは少ない。事業所でも積極的に挙げる人が少なく、指名してもできないというのが多いというアンケート結果もある。解消するためには、委員会や検討会の前に女性枠を作るというのはどうか。そうして女性を活躍の場に出てもらう方法もあるのではないかと思う。 ・45 ページの子育てについて、骨子案には「放課後児童クラブ」が入っていたが、素案には入っていない。放課後児童クラブの充実が抜けているのではないか。この言葉を入れることが大事だと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の注意書きについては、メディアリテラシーに限らず、全て確認して入れていきたいと思います。 ・女性枠は、クォータ制のことだと思います。いろいろなところで議論されていますが、第4次プランで書くのは即答できかねます。委員の意見を聞いて、持ち帰りたと思います。 ・放課後児童クラブについては、打ち合わせます。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・女性枠については、目標は30パーセントと承知しているので、そこに向けて努力していく姿勢は必要ではないかと思い、1つの案として出した。
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・45 ページの学童保育については、担当課に確認した方がよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次プランの既存の取組の中に入っていました。第4次プランに引き継がれていないということです。担当課などと文言を検討して、修正したいと思います。

議事内容（要旨）	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動を進めることについて、市の広報というとホームページや講演会、広報になると思うが、特に若い人はSNS、InstagramやTikTokの利用が多い。年齢層に応じた広報活動が大事で、ターゲット別に広報の仕方を変えることにも取り組んでもらいたい。三豊市は公式のLINEを作ったが、ホームページだけのときより見やすくなったと感じている。そういう分かりやすい、見やすい、親しみやすい方向になるとよい。 ・ 相談業務もいろいろと出てきているが、相談する場所がたくさんあった方がよい。民間との協力ができないかと思う。もちろん行政にしかできないことがあり、それも大事だが、行政の隙間を埋める民間やNPO団体がたくさんあると思うので、うまく連携できると、行政は敷居が高いと相談をためらう市民も行政につながっていきける。そういう仕組みができればよいと思う。 ・ 54 ページについて、骨子案では一時預かりや子育て費用などがたくさんあったが、素案では母子保健だけに特化している。何か理由があるのか。子育ては民間に委託している事業が多いが、三豊市の委託事業だ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動は公式LINEにとどまらず、SNSを通じた新たな広報活動を模索中です。具体的には今説明できませんが、専門部署と話を進めています。 ・ 相談業務については、窓口の周知が弱い、相談場所があるが、たくさんあるのがよくないのか、1つここへという110番的な窓口がいいのかという意見があります。人権擁護委員からも、自分たちの相談の認知がされていないのではないかという相談もありました。まずは既存の相談場所や窓口、相談できる内容の周知、認知度を高めることをと思います。もちろん民間との協力もできればと思います。相談業務は、相談内容をほかに情報提供するのが難しいので、連携が難しい面があります。例えば相談内容を聞いて、ここへ行くと詳しく力になれるというネットワークの構築はしていきたいと思います。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柚本委員から意見のあった45ページについては「みとよすくすく子育てサポートプラン」が別途あり、学童保育や放課後児童クラブを充実する内容が記載されています。育児相談事業をこうする、地域子育て支援拠点事業を増やすなど、各論としてきめ細かく目標値が設定されています。この子育てサポートプランに書いてあることを男女プランに改めて各論レベルで記載するよりも、「みとよすくすく子育てサポートプラン」に基づいて男女共同参画プランの後押しになるような業務を推進するというまとめ方をしています。 ・ 54ページにも「みとよすくすく子育てサポートプラン」が出てきます。母子保健もこのプランに書いてあります。「みとよすくすく子育てサポートプラン」は来年度から再来年度に見直しの時期になります。見直しの中で放課後児童クラブ、母子保健のきめ細かな見直しが出てくるかと思っています。 ・ 45ページには介護についても「三豊市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき・・・」とあります。ここもきめ細かな数値がありますが、集約して、男女プランではこのような見せ方にしてはどうかと提案しています。

議事内容（要旨）	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の役割は、仕事と家庭生活の両立だけではないと思う。子育て支援拠点事業で子育て広場をやっていると、母親同士で相談やアドバイスをし、愚痴をこぼしてスッキリするというのがある。一時預かりは仕事と家庭生活両立の役割は若干あるが、子育て支援拠点はあてはまるのかというのがある。子育ては仕事との両立だけではなく、子育て中の悩みや不安を解消するのが一番だと思っているので、そこがないと仕事との両立はできない。 ・このプランを見たとき、行政のことしか書いていないと感じた。例えば現状の整理にやっている事業が書かれていれば、具体的な取組の「みとよすくすく子育てサポートプランに基づき・・・」が生きてくると思う。現状の整理にも出てこないのでは違和感を覚えた。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・29 ページ「男女平等の視点に立った教育・保育の推進」の取組内容3番目、男女混合名簿の作成はほとんど終わり、残っている中学校2校も来年度には変わるだろうと聞いている。5年先まで使うので、ほぼ終わっている内容を書くのはもったいない。違う取組を入れるか、削除した方がよい。 ・20 ページを読むと、広報・啓発はホームページやリーフレット、メールなどを活用して行われるが、全て目からの情報だ。耳から情報を伝える方法も模索してもらいたい。
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・できる範囲になるかと思うが、どうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・29 ページの男女混合名簿は、確認不足でした。削除します。 ・このプランは、今後5年間取り組むことを内外に示すものです。その中で、マイノリティへの配慮も記載した方がよいということでしょうか。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止が視覚障がいのある人に伝わるかということだ。計画に載せるのが難しければ、男女共同参画推進協議会など民間で伝える活動をやらせてもらえるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次の5年間の取組、毎年の進捗状況で取り上げていくのでもよいですか。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・よい。
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、議事（2）パブリックコメントの実施について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2説明
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見などあれば伺いたい。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1-2について、目標値は希望、望ましいものなのかを知りたい。また現状値について、令和3年度などを書いていないものは、第1～4次プランの間の数字か。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・年度で積み上げた数字と、その年度のもの両方があります。例えば把握方法1のNo. 2は令和3年度の数字ですが、No. 10は令和3年度まで積み重ねたものです。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・分かった。 ・把握方法1のNo. 7、8は目標値が下がっている。また把握方法2のNo. 7は現状値41.9パーセントから目標値90パーセントとかなり数字が上がっている。どういうふうに設定されているのか。
人事課	<ul style="list-style-type: none"> ・把握方法1のNo. 7、8については、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき策定した、令和2年から向こう5年間の2回目の特定事業主行動計画で20パーセントを掲げています。令和3年度は20.7パーセントと上回っていますが、令和2年度は17.3パーセントでした。女性の管理職の割合は、定年退職や人事異動、組織の状態によって前後するので、そういったことを加味しています。5年間というスパンで20パーセントを上回りそうだとすれば、計画で見直していきたいと思いますが、目標値としては現状の特定事業主行動計画に記載している数字としました。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の性格は必須か、望ましいものかで変わってくる。今は30パーセントが目標最大値なのに、20パーセントとなっている。現状と照らし合わせて望ましいというのなら、それはそれでよい。それぞれの目標値を決めたのには考え方があるが、基本的な考え方はない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基本計画で市町村に対してこれくらいという数字があるものは、それを使用しています。その項目以外は三豊市オリジナル的なものが多く、各課がんばるという気持ち的な部分が強いです。達成可能かどうかというよりも、これだけがんばりたいという思いの数字と思ってもらえたらと思います。 ・例えば把握方法1のNo. 1は、ゼロからいきなり目標値1,000人にしています。本当に集まるのかは分かりませんが、5年あるから集められるのではないかという思いで出しています。1,000が適正な数字かは正直分かりません。届かなければもっとがんばろうと思い、超えれば次は3,000などの目標にしていきたいと考えています。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の性格は「望ましい」ものだ認識した。そう考えると、把握方法2のNo. 7は、このプランの根幹だ。「男女共同参画社会」の言葉を知らないのはおかしく、100パーセント目指してがんばるのが市としての姿勢ではないか。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・把握方法1のNo. 8の数字は、少ないと思っている。10月に育児休業法が改正され、国も事業所が啓発するようになっており、男性の育児休業を促進している。それなのに残念だ。まず市は男性が育児休業を取りやすい環境にしている見本を見せないと、民間にも広がっていかない。特定事業主行動計画の2年目は分かるが、育児休業法が改正されたことを踏まえて、数字の設定を考えてもらいたいと思う。

議事内容（要旨）	
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児休業取得率の現状値が36.4パーセントなのに、目標値20.0パーセントはどうか。島根県警では90パーセント取得率だと新聞で読んで、それと比べて情けないと感じた ・育児休業や介護休業を取得しやすい環境づくりは大事だが、その中身、例えばどういう取得ができるかも大事だ。知人の市の職員は12月に子どもが生まれたが、育児休業について本人はあまり知らず、上司から説明もなく、全休で済ませたようだ。中身を知らせることも必要だと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人事課もすごくがんばっていて、今年度の実績値は速報値で75パーセントです。しかし当時はそこまで数字がなかったため、この数字に設定しました。まさかそこまで上がるとは思わなかったと思います。特定事業主行動計画で数字を設定しているのに、飛び越えて新たな目標を男女プランで設定するのは難しいこと、目標数値なので冊子には反映されないと思いますが、ホームページの電子データなどで次の目標値が出てくるので、そこで修正する形で行うということでご理解してもらえたらと思います。
宮崎（和代）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1-2把握方法1No.11について、「たから」の里は「たからだ」の里に直してもらいたい。 ・産直市をやまもとふれあい市、たからだの里さいたの2つに絞った理由と、目標値の設定は2つに絞ったからなのかについて知りたい。
農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を修正します。 ・市の公共施設がこの2つなので数字の把握がしやすいことと、統計を取っているため時系列も分かることから絞りました。
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1-1の43ページの「職業能力開発や就業の支援」の取組内容3番目に「UIJ就職説明会」とある。UIJ「ターン」がないと、ピンとこない。これは名称だから、こういう表記の仕方しかないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・正式名称を確認します。実際に使っている文言に合わせたいと思います。
北川副会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。 ・人権課だけで取組をしていくのは大変だ。ほかの課ともつながっていかないといけないと感じた。 ・1-2の数字については、なぜかと思うところがあるので、注釈のようなものがあつた方がよりよいと感じた。高い数値の部分は私も気になったので話したが、高い数値で意識を高めるといのは、三豊市オリジナルの部分で大事だと思う。もちろん100パーセントがいいが、すぐには行かないところがあるので、高いところを目指してやっていくと聞いたので、進めてもらいたいと思う。 ・パブリックコメントについて何もなければ、事務局から何かあるか。 ・ないようなので、本日の会議は以上とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュール、ダイジェスト版について ・挨拶 ・閉会

以上